

児童発達支援 夢門塾 自己評価表

記入日:	2024 年 12 月 3 日
事業所名:	児童発達支援夢門塾相生

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	7	0	0	人数の多い時間はフィードバックの時間をずらしたり、運動室を使用したりして対応している
	②	職員の配置は適切である	7	0	0	児童の人数に合わせて配置している
	③	衛生面の管理が行き届いている	7	0	0	毎朝出勤後や児童が帰った後に掃除をしている 玩具の消毒・倉庫内もこまめに整理している 換気も意識して行うようにしている
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	0	職員会議を毎月行うようにし、業務日誌の活用も行っている
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	7	0	0	保護者様評価を活用し、保護者様の意見を把握したり、改善点の確認したりし、チームで改善できるよう実行している
	⑥	自己評価の結果を公開している	7	0	0	毎年ホームページで公開しており、いつでも見ることができる
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	7	0	0	毎月社内研修があり、全員が学べる機会がある 研修に参加できない場合も、資料にしっかり目を通して 事業所内でも支援の方針や対応について会議を行い、情報共有して理解を深められるよう努めている
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	7	0	0	毎回のフィードバックや、モニタリング時に参観をしていただき、様子を見ながら保護者様のニーズを聞き個別支援計画を立てるように進めている
	⑨	活動の計画をチームで行っている	7	0	0	早めに計画を立て職員全員で意見を出し、役割分担を行うので、全体でイメージが共有できている
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	7	0	0	運動内容はご利用者様に合わせて毎週違う内容にしている 季節に合わせたイベント等も話し合いを行い、毎年固定されないよう工夫している 机上課題も発達に合わせて様々な内容が取り組めるよう工夫している
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	7	0	0	季節に合わせたイベントや、運動・課題を提供している また、放課後等ディサービスとの交流の機会をとっている
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	7	0	0	ご利用者様に合わせて対応している
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1	0	情報共有を行い、その日の担当を決めている また、週1回併設の放課後等ディサービスとも一緒に朝礼を行い情報共有できるよう努めている
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0	誰が読んでも分かりやすいような記録をとることで振り返りができるようにしている 支援前に目を通すよう心がけている
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0	期間を区切ってモニタリングを行い、保護者様の相談も含め計画を立て、必要に応じて短期間での見直しも行うこともある
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7	0	0	ガイドラインの確認を行い、組み合わせながら支援を行っている

関係機関・保護者様との連携	17	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	0	利用者様の通われている園へ訪問し、報告書を作成するなど連携を図っている 保育所等訪問支援を行い、児童の情報共有を行っている
	18	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	4	3	0	夢門塾を利用する前に利用していた園や事業所がほぼない為情報共有が難しいが、保護者様や相談支援事業所より情報を提供していただき支援にいかしている
	19	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	7	0	0	放課後等デイサービスへの引継ぎを行っている 同じ施設内に放課後等デイサービスがあるので連携しやすい 必要に応じて支援にも入っている
	20	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4	0	近隣の児童発達支援事業所とも連携をとっていきたい
	21	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	7	0	0	フィードバックの時間を設け、その日の様子や、頑張っている事、困っている事、課題を伝え共有できるようにしている
保護者様への説明責任等	22	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	0	契約時にわかりやすく説明することを心がけている
	23	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	7	0	0	フィードバック時に話がしやすいように考えて会話をしたり、必要に応じて個別に時間をとるようにしている 相談に応じたり、職員間で共有し助言ができるよう努めている
	24	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	7	0	0	保護者参加型の夏祭りを開催し、同時に保護者会を開催することができた また、放課後等デイサービスと合同開催も実施した 今後も定期的に開催できればと思う
	25	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0	苦情窓口は契約時に丁寧に伝え、何かあった時には迅速に動けるようにしている
	26	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	7	0	0	行事予定表は毎月、広報誌は月に1～2回発行している
	27	個人情報保護に十分注意している	7	0	0	個人情報の取り扱いについては、契約時に確認をとり、それに沿い十分に注意を払っている
	28	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0	視覚支援を取り入れたり、個々の状況に合わせてフィードバックの部屋を分けるなど配慮している
	29	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に関わられた事業運営を行っている	4	3	0	利用時間が短い為、地域行事に出向くことは難しいが、地域の公園へでかけたり買物体験に行ったりしている
非常時などの対応	30	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	6	1	0	マニュアルを用意し、いつでも見られるよう周知している
	31	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	7	0	0	利用曜日、利用時間も個々で違う為、できるだけ全員が参加できるように避難訓練週間を設け取り組んでいる
	32	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	0	全職員、春と秋の年2回虐待防止の研修を受けている
	33	いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	7	0	0	現地点で身体拘束が必要な利用者様はいないが、必要があれば十分に説明をし、了承を得てから実行する
	34	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	4	3	0	現地点で投薬が必要な利用者様はいないが、必要があれば与薬表の確認、チェックの上、投薬を行う
	35	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	7	0	0	少しのことでヒヤリハットにあげ、職員で共有できるようにしているが、抜けがちなので意識づけをしていきたい
保護者様評価、自己評価についてまとめ						
<p>当事業所を利用する以前に利用していた施設が少なく連携が難しい為、相談支援事業所さんと連携をとって進めていきたい。 利用時間が短い為、地域行事への参加ができてくいが折をみて少しでも機会を作っていければと思う。</p>						